

県立宮崎病院改築事業について

1 概要

令和4年1月に新宮崎病院が開院した。全県レベルの中核病院としてその役割を果たすとともに、他の救急医療機関との連携を図りながら、重症・重篤救急患者等に的確に対応し、「断らない救急」の実現を目指す。



[基本情報]

- ・ 診療科24、病床数502床（一般459床、感染8床、精神35床）
- ・ 職員数（医師110名、看護師・助産師504名、コメディカル103名、事務19名）
※令和4年4月1日現在
- ・ 災害拠点病院、救命救急センター（第3次救急医療施設）、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期医療センター、地域医療支援病院等

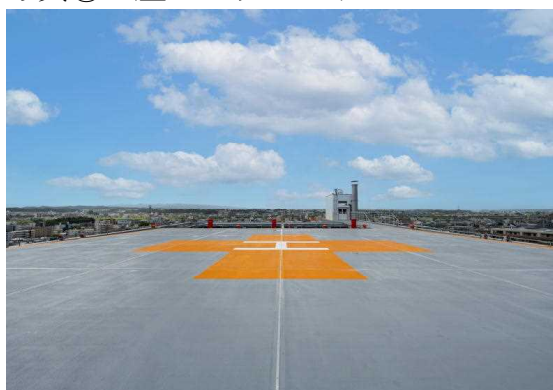
(1) 建替の経緯

老朽化、狭隘化が進行していた旧病院について、東日本大震災を教訓に基幹災害拠点病院として救急医療の機能を充実させるため建設。

(2) 新病院の特徴

- ・ 病棟と一体化した救急・総合診療センター設立
- ・ ICU、手術室を増室。屋上にドクターヘリポートを設置
- ・ 手術支援ロボット「ダビンチ」導入
- ・ コロナ感染症専用エレベータを設置し、ICUコロナ専用病床へ搬送
- ・ 外来化学療法室の充実

写真①：屋上ヘリポート



写真②：手術支援ロボット「ダビンチ」



2 今後の予定

- 令和4年度 新病院の開院、旧病院の解体工事等に着手
 研修センター（旧精神医療センター）の運用開始
 令和5年秋頃 新病院グランドオープン